

採用面接の手法学ぶ

十六銀と東信セミナー 経営者ら傾聴

多治見市

人材確保の成否を分ける採用面接のセミナーが27日、多治見市虎溪山町のとうしん学びの丘エールで開かれ、東濃地域の中小企業の経営者ら約45人が面接のテクニックを学んだ。

営業部の村瀬誠さんが、中途採用の面接の技術や注意点を解説した。「転職理由は何ですか」とストレートに聞くのではなく、「転職はいつから考え始めたか」「その頃、何があったのか」と質問を分ける方法を紹



企業経営者らが採用面接のテクニックを学んだセミナー＝多治見市虎溪山町、とうしん学びの丘エール

介。「転職理由を自社に置き換えたとき、同様の状況が起きる可能性がないかを判断できる」と述べた。

また、採用の可能性が高い応募者に、複数の転職候補から自社を選んでもらう技術として「面接の最後に、相手の良かった点を伝えよう」と助言。「人は認められると気持ちが高まり、覚悟を持つようになる」と語った。

セミナーは売り手市場で人材の採用、定着が企業の経営課題となる中、十六銀行と東濃信用金庫が地方創生にかかる包括連携協定に

基づいて開いた。

(野中準二)